このドキュメントは、藻利衣恵が高崎経済大学での講義配布資料として学内のポータルサイトと自身のホームページで公開している資料です。著作権法第35条に基づき、講義目的で利用するために著作物を複製している部分もありますので、このドキュメントを作成者本人の承諾を得ずに第三者に引き渡すことを禁じます。

会計学 ガイダンス資料

担当：藻利 衣恵

本日の概要

- 本講義の概要
  - 本講義の目的／達成目標
  - 評価方法
  - 今後の授業スケジュールなど
- イントロダクション
  ー会計を学んで役に立つこと
- 本日の講義

本講義の目的

- 本講義の目的

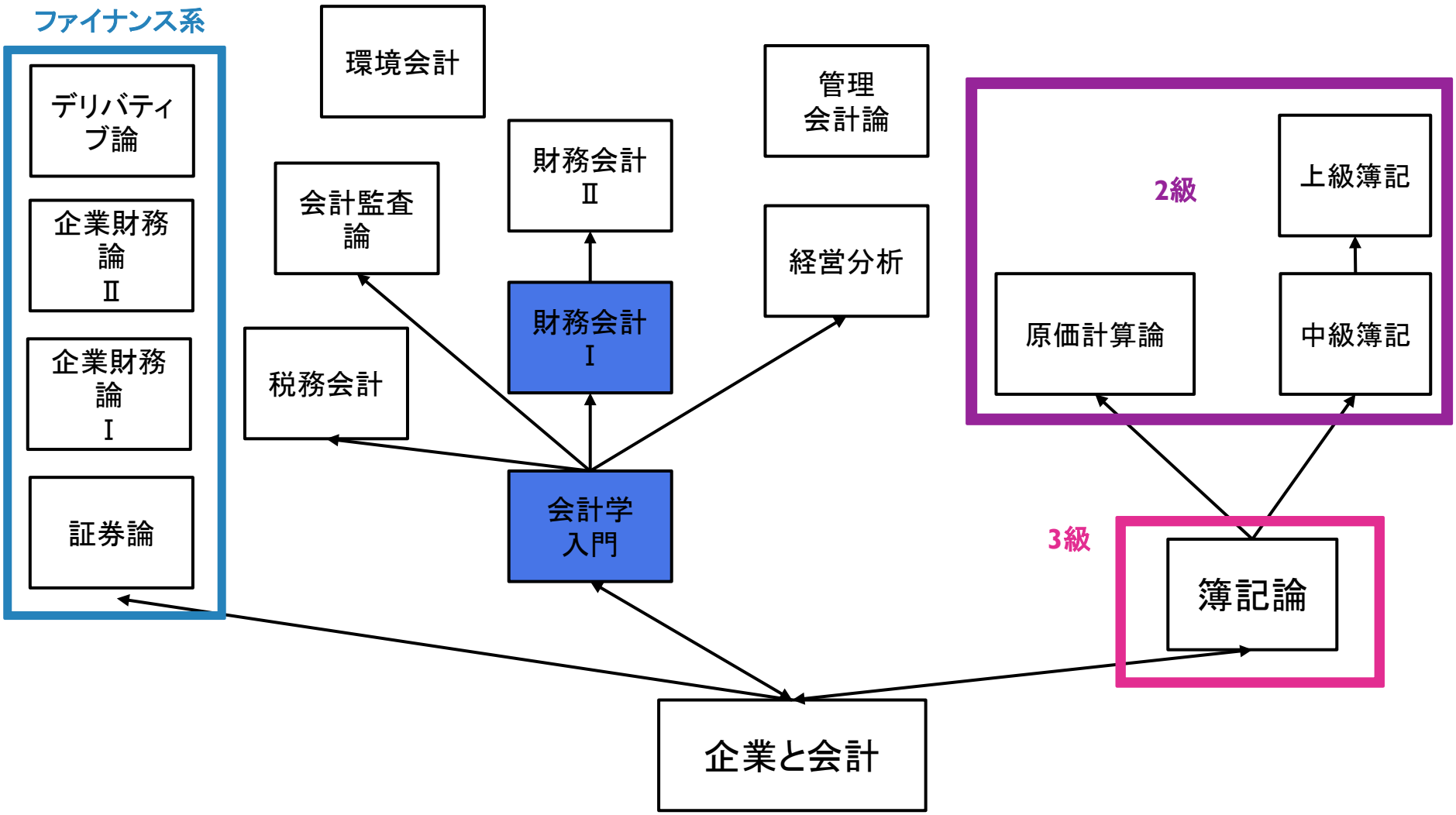
  本講義では、

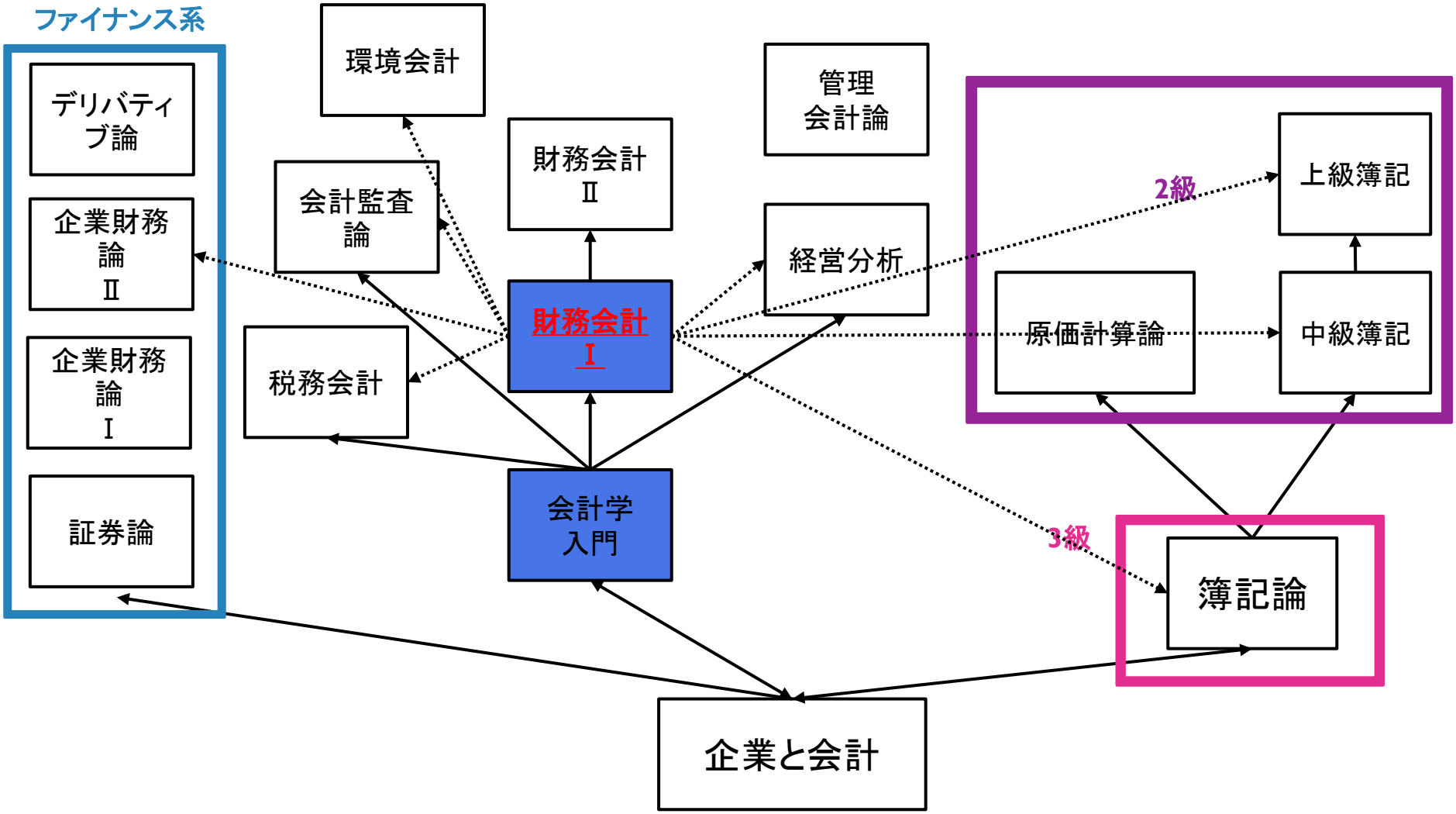
  現在設定・公表されている**主要な日本基準**のうち、

  会計学入門および財務会計Ⅰの時間内で説明しきれなかった

  会計領域の会計基準の会計処理

  およびその背後にある考え方の説明を行う。


ファイナンス系
デリバティブ論
企業財務論Ⅱ
企業財務論Ⅰ
証券論
環境会計
会計監査論
財務会計Ⅱ
管理会計論
経営分析
税務会計
財務会計Ⅰ
会計学入門
2級
上級簿記
原価計算論
中級簿記
3級
簿記論
企業と会計


ファイナンス系
デリバティブ論
企業財務論Ⅱ
企業財務論Ⅰ
証券論
環境会計
会計監査論
財務会計Ⅱ
管理会計論
経営分析
財務会計Ⅰ
税務会計
会計学入門
2級
上級簿記
原価計算論
中級簿記
3級
簿記論
企業と会計

達成目標

- 達成目標

1. **我が国**の**会計処理**とその**背後にある基本思考**を理解できる。

2. **財務諸表**（損益計算書・貸借対照表・キャッシュフロー計算書等）に記載されている**基本的な内容**を理解できる。

- ［当面の目標］**新聞・雑誌**における**財務会計関連の基本的な記事を理解**できる。

教科書／教員への連絡方法

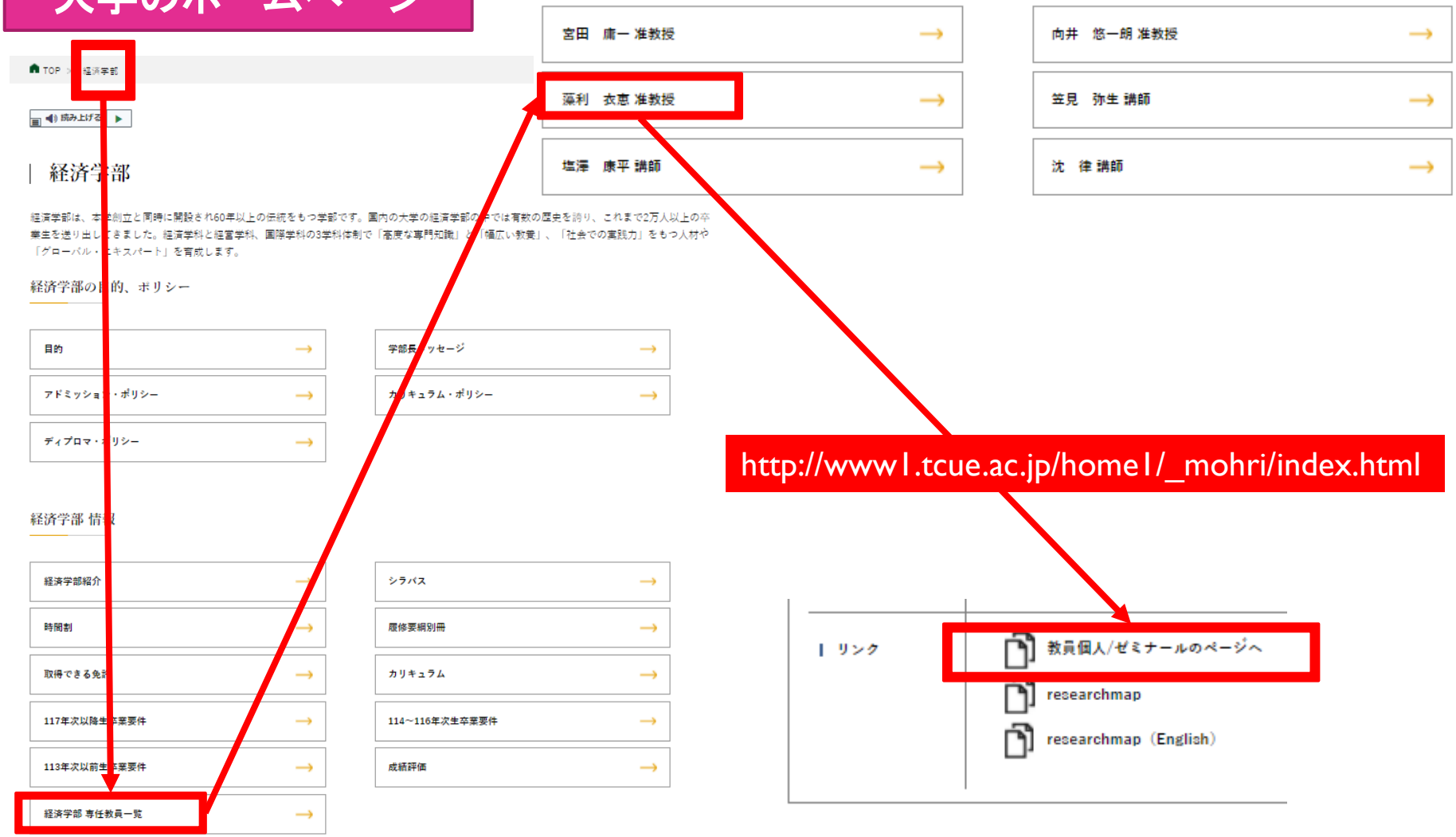
- 教科書
  - 配布したレジュメをもとに、講義を行います。
- 参考文献
  - 桜井久勝『財務会計講義（第27版）』中央経済社
- 教員への連絡方法：
  - 今年度のオフィスアワー：**木曜3限**
  - 公式LINEのリッチメニューからのアポイントが基本
  - それまでに何かありましたら、kinue2014@tcue.ac.jpにご連絡下さい。
  - **研究室（研究棟2階213研究室）**または**オンライン（Zoom）で対応しますので、公式LINEからアポイントを予約**して下さい。 ※ZoomのURLはリッチメニューを参照してください。

本講義の進め方①

- テキストに沿ったパワーポイントの教材（パスワード：135651）で講義を行います。
- 予習を行いたい学生のために、一週間前までに、Webclassとホームページに、パワーポイントをアップロードしておく予定です。
  - ホームページ http://www1.tcue.ac.jp/home1/_mohri/index.html
- 授業時に、アップロードしたレジュメを、各自持参してください。
  - 授業前にレジュメに目を通す習慣をつけるため。

ホームページでのダウンロードの仕方①

大学のホームページ

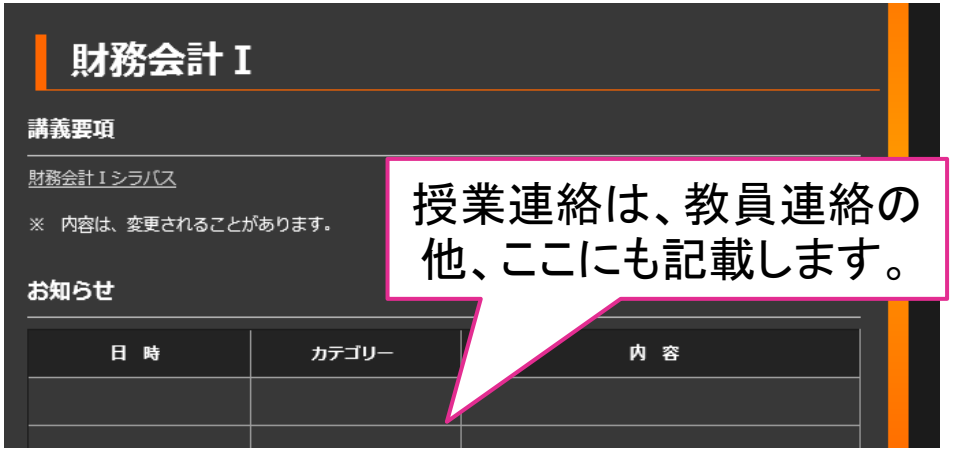


ホームページでのダウンロードの仕方②



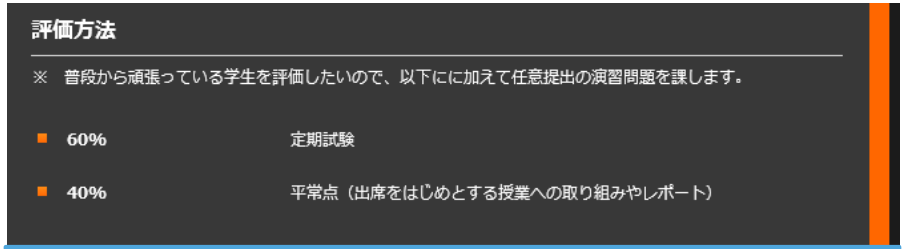


ホームページでのダウンロードの仕方③

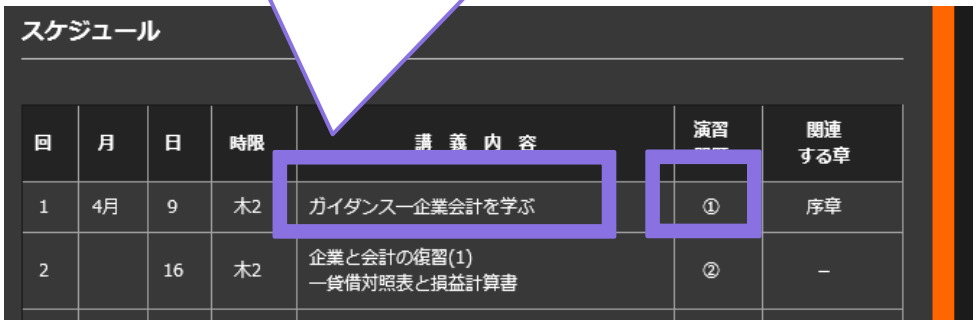


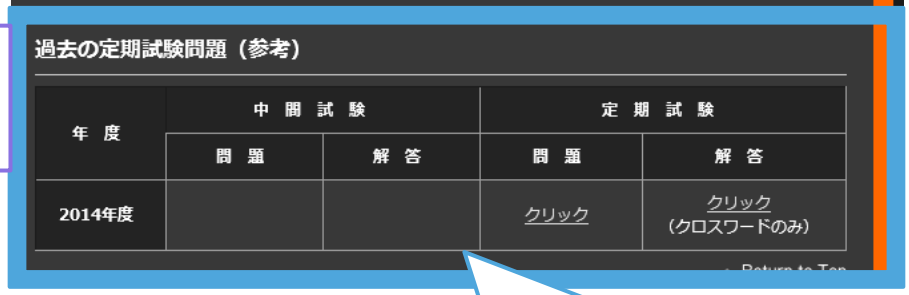
授業連絡は、教員連絡の他、ここにも記載します。

レジュメ・演習問題・過去問のパスワードは、
135651です。



レジュメと演習問題をスケジュールの欄にアップロードしますので、持参してきてください。





過去の定期試験の過去問は、ホームページの下の部分にあります。

教員への連絡方法

1. 講義に対する**質問等**は、**公式LINE**または**メール**を利用して下さい。

- メールアドレス　kinue2014@tcue.ac.jp
- チャットおよびメール利用上の注意点
  - **メールの件名**は、**「会計学」**と言う単語を入れてください。
  - メールを使用する場合には、**自分の学生番号・氏名をメール本文または末尾に明記**してください。
  - **公式LINEおよびメールに即答はできない場合がありますので、回答が来るまでしばらくお待ちください。**

本講義の進め方－評価方法

項　目	点　数
中間試験	30点満点
定期試験	60点満点
第2回アンケート	5点
平常点（公式LINE上での回答等）	1点×15回
次のスライドの注意事項を守れない場合 教員の注意に従えない場合　など	▲10点　※2回以上で退場

10点以上なければ、
単位は取得できません。

会計学の出席確認方法
※履修者数により調整予定

- 第1回の出席は、**Webclass上の演習問題を第2回講義開始までに、Webclass上の提出場所で提出**してください。
- 第2回以降は、公式LINEまたはformsにより出席を取る予定です。
- **講義中のランダムな時間に、**
  - **【LINEの場合】「本日のKeyword」をスライドに記載**します。学生は、**3分以内に、公式LINEにそのKeywordを送って**下さい。公式LINEに送信後、**自動応答メッセージに当日のクイズのURLが記載されていますので、それを解答してください。**これで出席となります。
  - 【Formsの場合】**本日のQRコードをスライドに記載**します。学生は、**5分以内（検討中）に、当日のクイズに解答してください。**これで出席となります。

※**自動応答メッセージが来ない場合は時間切れ**ですので、ご注意下さい。

※**公式LINE登録時の設定が間違っていると、自動応答メッセージは流れません**ので、ご注意下さい。

【最終的な出席回数の確認】

- **公式LINEの右上の虫眼鏡**で「出席」と検索を掛けていただくと、教員に聞かずとも、**出席回数は確認可能**です。

（Formsの場合は、メールとします。）



講義履修にあたっての注意事項

- 公式LINEはマニュアルを確認しながら、使用すること。
- 公式LINEで送られたFormsの問題は、教員が指示したあとに解答すること。
- 本年度は、Webclass等のチャットは資料配付以外は使わない予定ですが、チャットでは、指定されたところに、注意事項を理解した上で記入すること。

  ※ 教員や他の履修者、講義への悪口・不満を書かず、質問事項のみを記入すること。
- Webclass等でのビジネスチャットおよび公式LINEと、普段履修者が使用している（プライベートの）チャットやLINE等とは異なることを理解すること。

  ※ 基本的にチャットに対してリアクションは行わないこと。

  ※ 特に、深夜や土日などの返信を求めたり、試験や〆切直前の返信を求めたりはしないこと。
- 単位の救済依頼は、担当教員に行わず、必ず教務チームに確認するようにしてください。

今後の授業スケジュール（予定）

第1回	ガイダンス―企業と会計・会計学入門の復習
第2回	会計学入門ないし財務会計Ⅰの復習 －発生主義会計
第3回	
第4回	企業結合
第5回	
第6回	連結財務諸表
第7回	

第8回	中間テスト
第9回	資産（減損、繰延資産、リース）
第10回	負債（引当金、退職給付会計）
第11回	負債（資産除去債務、偶発債務）
第12回	純資産―自己資本（自己株式を含む）
第13回	純資産―その他（ストック・オプションを含む）
第14回	税金および税効果会計
第15回	総括